



広島オリーブ会

オリーブひろしま

第22号

広島オリーブ会会報

2016(平成28)年5月28日発行

広島オリーブ会

事務局・☎730-0533

広島市中区小網町2-1

電話・082(297)0533

FAX・082(297)5210

<http://www.hiroshima-olive.info>



美術鑑賞会〜ひろしま美術館

「浮世絵忠臣蔵と新春を

彩る日本画展」を観て

2016年1月11日 栗田博正 37回生



2016年1月11日(月)、ひろしま美術館にて、参加者32名が集まりました。今回は、ひろしま美術館所蔵の浮世絵版画《誠忠義士伝》(歌川国芳画) 50枚を中心に、竹内栖鳳、横山大観、村上華岳ら日本画の秀作を加え、そこに見られる技術の粋とその美に焦点を当てて紹介する華やかな新春企画、題して、「浮世絵忠臣蔵と新春を彩る日本画展」を鑑賞しました。解説は古谷可由学芸部長でした。広島オリーブ会の美術鑑賞会でもいつも解説をやっていたので、聞いておきたいです。

古谷学芸部長の説明を聞きながら、館内を回りました。ひろしま美術館というと、西洋美術のイメージが強かったのですが、今回展示された浮世絵、日本画などの作品は、ひろしま美術館所蔵のものとのことでした。古谷学芸部長によれば、浅野内匠頭の老家である浅野家が広島にあり、忠臣蔵と広島にはつながりがあるとのことでした。また、浮世絵は絵画(一人の作品)とちがいで、彫師、摺師の共同作業であり、当時の版面は色を重ねることができないので、色ごとに版がある急な登りがありまして、先は長いにもかかわらず、ここできなかり体力を消耗し、先行きが不安になります。途中、脚の不調から引き返す方も出て、私も自分の脚の調子が気になりながら、登ります。

何となく、中央展望台に到着すると、中央展望台は広場になっていて、東に瀬戸内海が広がり、西は山口県境の羅漢山が正面に見えました。休憩した後、頂上に向かいました。頂上広場では無線を趣味とする方が何組も来ていて、車の横に大きなアンテナが設置されていました。頂上

り、重ならないような工夫が凝らしてあり、どこに色を付けるか「見当」をつけ、これが見ると「見当はずれ」となったことなどの説明を聞きました。大石内蔵助が書いた絵もありました。広島オリーブ会の美術鑑賞会に参加したのは初めてでしたが、専門家の説明を聞きながら、美術作品を鑑賞する機会は大変貴重と思えました。当日は午後2時から古谷学芸部長も登壇する座談会「日本画の過去・現在・未来」が開催され、表具師の方の話も聞けて楽しかったです。

秋の登山 経小屋山

広島オリーブ会青年部行事として、10月11日(日)に経小屋山へ登山しました。今回の登山は青年部と22回生有志とで合同開催され、22回生6名と他の回生3名と一緒に山を歩きました。22回生有志は定期的に登山をされているそうです。

曇天のJR玖波駅に集合し、9時25分頃出発しました。鳴川ルート登山口(調整池タンク)から山道へ入ります。

宮浜ルートで下山しましたが、急な山道が続き、いつ膝が痛くなるか不安に思いました。たが、何とか下山できました。「べにまんさく湯」に到着し、入浴後、2階の「レストラン湯屋わたり」で反省会をしました。風呂は気持ちよく、ビールも料理も美味しかったです。

は展望がないので、敵島が良く見える東展望台に移動し、そこで軽食を取りました。東展望台からは瀬戸内海はもちろん、東北方向は広島市街地まで眺めることができました。



左から川端英之、杉原勝宣、藤井智康(いずれも36回生)



講師 児玉雅治



第32回 広島オリーブ会 総会開催

広島オリーブ会ならびに橘香会の皆様、平成28年度の第32回総会は36回生(昭和63年卒)が幹事を務めさせていただきます。日にちは5月28日17時より会場は昨年もお世話になった「ホテルセンチュリー21広島」で広島駅南口駅前大橋を渡ってすぐのホテルです。今年の講演は、附属高校近くの蔵王町で医療法人まさよし会 児玉クリニックを経営している児玉雅治君にお願いしました。彼は同期の同窓会をまとめてくれる人もあり、何より現在、附属の校医をしているので最近の学校の様子をよく知る医師であります。専門の消化器外科、特にみなさん親しみのあるであろう「痔」についてのお話をしてもらうことにしています。それともう一つ余興を計画しておりますが、現在進行形です。ので当日までには何とか形にできる予定です。

「山中高女原爆死没者慰霊祭」への思い

3回生 野坂忠守



②広島オリブ会の歩み・橋香会との交流(野坂がまとめた資料)

③山中高女卒業生が、被爆時の全体像を復元するための活動状況を掲載した、中国新聞の記事(4枚)

を配布しました。

また、橋香会から参加された末友智子さん(昭和20年卒業)、佐々木敏恵さん、西本英枝さん(いずれも22年卒業)の3人からも発言をいただきました。

8月6日の惨状、犠牲者の消息確認のための作業など、80歳を過ぎた高齢の方のつとつとした語り口には、胸打たれるものがありました。

会員から「来年の総会でも話をしてもらったら」という意見も出るなど、有意義な会だったと思います。

(2015年6月27日の勉強会より)

8月6日(木)、広島市中区国泰寺町1丁目の荒神堂境内で慰霊祭が行われ、93人が参列しました。平成17年から広島オリブ会が運営を始めた慰霊祭は今回で11回目。8時15分に黙とう、全員が献花をして犠牲者の霊を慰めました。

母校からは平賀博之副校長、学友会主任の三宅理子先生、学友会からは会長の小松原彩乃さん、総務委員長の三宅章太さん、広報委員長の渡辺慎太郎さんたちが出席。小松原彩乃さんは「先輩方の犠牲を繰り返さない」と追悼の辞を読みました。

広島オリブ会からは、これまで会長を務めた杉ノ原芳樹さん(1回生)、織田珖治さん、現会長の佐藤克則さん

(17回生)、野坂をはじめ18人が出席、橋香会の山内幹子さん、宇野千枝子さんたちと交流しました。

慰霊祭が終わった後、佐藤会長は会員を前に「私たちは未来永劫、慰霊祭を続けていく」と決意を述べました。

織田前会長も「オリブひろしま」の原稿の結びで「広島オリブ会として、この原爆慰霊祭の灯を守って欲しい」と心から願っています。

広島オリブ会の皆さん、被爆70年を迎え、心を新たに、これからも荒神堂で開催される原爆慰霊祭に取り組んでいこうではありませんか。

速報 今年度は2016年5月15日(日)に開催しました。

5月15日(日)春のゴルフコンペが本郷カントリーにて開催されました。今回は、4組12名の参加となりました。優勝は、昨年度、総会の司会者をつとめた35回生の山本大輔さん。昨年10月の転勤以降、ゴルフの機会が増えたとのこと、この日も2日連続のラウンドだったそう。強豪7回生のベスグロ井上先輩に2打差と迫る勢いを披露するあたりさすがでした。次回は10月の日曜日に開催する予定です。

ご家族等のゲストも大歓迎、次回も6組での開催を目指します。

(32回生 佐藤啓之)

順位	氏名	スコア
優勝	山本大輔	93
準優勝	箱田博	91
3位	井上泰之	89
4位	町原亮	89
5位	岩田洋一	89
6位	岩田洋一	89
7位	横山光彦	107
8位	井上俊彦	107
9位	佐藤啓之	109
10位	神原啓之	109
11位	佐藤啓之	109
12位	佐藤直美	109

秋のコンペ(2015年11月8日)

順位	氏名	スコア
優勝	佐藤克則	108
準優勝	力本一馬	108
3位	佐藤啓之	108
4位	荒木琢磨	109
5位	岩田洋一	109
6位	横山光彦	109
7位	井上泰之	109
8位	井上泰之	109
9位	濱田泰一	109
10位	井上泰之	109
11位	井上泰之	109
12位	大成泰之	113
13位	大成泰之	113
14位	川上洋介	127
15位	岩田和佳奈	164

春のコンペ(2016年5月15日)

順位	氏名	スコア
優勝	山本大輔	65
準優勝	箱田博	74
3位	井上泰之	77
4位	町原亮	77
5位	岩田洋一	78
6位	岩田洋一	81
7位	横山光彦	84
8位	井上俊彦	84
9位	佐藤啓之	88
10位	神原啓之	88
11位	佐藤啓之	91
12位	佐藤直美	91

原爆死没者慰霊祭が営まれました

中学校の前身、広島女子高等師範学校附属山中高等女学校の慰霊祭が2015年8月6日、広島市中区の荒神堂でありました。70年前、広島に投下された原爆で尊い命を落とした先輩と教師合わせて387人を悼むため、広島オリブ会の有志約10人、山中高女OB、地元住民など約80人が出席。平和の尊さを改めて心に刻みました。

式典は35回生の山本大輔さんが司会を務め、今年も附属中・高校から小松原彩乃学友会会長ら4人が参列しま

した。追悼の辞で小松原会長は「私たちと同世代の先輩方が、輝かしい未来を一時にして閉ざされてしまった現実が衝撃的で、言葉にならない」とし、「世界のどこかでは今もなお戦争が起き、人々が苦しんでいる。憎しみ、命を奪い合う事からは何も生まれません。二度と戦争を繰り返さない、核兵器は絶対に使ってはならない」という意志を持ち続けま

す」と述べました。全校生徒で折った千羽鶴を慰霊碑に捧げ、8時15分には参列者全員で黙とうし冥福を祈りました。

ちなみに私自身、1986年に現役附属生の学友会広報委員長として、高橋会長、杉原副会長とともに慰霊祭に出席した経験があります。備後では周囲に被爆体験者が少ないせい、知識はあっても他人事のような認識でした。しかし慰霊祭の参加をきっかけに身近な出来事へと変わり、広島に就職した後も毎年、慰霊祭に参加し続けています。改めて、貴重な体験をさせて下さった先輩方に感謝するとともに、平和の尊さを次世代へと継承していかなくては、と思っています。

今年も8月6日に、現地で慰霊祭を行います。私たち36回生が幹事を務めますので、お時間の許す限り、お越しいただけますと幸いです。この原稿を書いている時、5月27日に米オバマ大統領が広島訪問とのニュースが流れました。被爆地で「核兵器なき世

界」実現に向けてどう訴えるのか、注目です。慰霊祭で、先輩方への報告ができればと願っています。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

(36回生 藤井智康)

広島オリブ会では、いろいろな行事を企画、実行しています。その中でも「山中高女原爆死没者慰霊祭」は、広島ならではの重要な行事です。旧山中高等女学校(以下山中高女)の同窓会である橋香会(きっこうかい)は、会員の高齢化により、総会や慰霊祭の運営をする人の負担が大きくなったため、平成16年の第115回総会をもって全ての活動を停止しました。

広島オリブ会は、平成17年から広大附属福山高高等学校(以下附属福山)と関わりのある、山中高女原爆死没者慰霊祭を、毎年、当番幹事学年を中心に運営してきました。

原爆投下から70年目に当たる今年、広島オリブ会と橋香会の関係、慰霊祭を広島オリブ会が行う意義などについて、織田珖治前会長(10回

生)が会報「オリブひろしま」第21号(5月30日発行)に執筆されました。

附属福山の生い立ちから始まり、橋香会との合同活動の経緯などが分かりやすく述べられており、大変貴重な資料といえます。

一方で、勉強会も開催され私が講師を務めました。

とき 2015年6月27日(土) 13時~15時半
MDXビル8階会議室
広島市中区天守町16-2

当日の参加者は27人。内訳は附属福山から学友会主任の三宅理子先生(35回生)、橋香会から3人、広島オリブ会から23人です。

理解を深めていたため、資料として、

①織田前会長の「オリブ広島」に掲載された文章のコピー

母校の前身、広島女子高等師範学校附属山中高等女学校の慰霊祭が2015年8月6日、広島市中区の荒神堂でありました。70年前、広島に投下された原爆で尊い命を落とした先輩と教師合わせて387人を悼むため、広島オリブ会の有志約10人、山中高女OB、地元住民など約80人が出席。平和の尊さを改めて心に刻みました。

式典は35回生の山本大輔さんが司会を務め、今年も附属中・高校から小松原彩乃学友会会長ら4人が参列しま

した。追悼の辞で小松原会長は「私たちと同世代の先輩方が、輝かしい未来を一時にして閉ざされてしまった現実が衝撃的で、言葉にならない」とし、「世界のどこかでは今もなお戦争が起き、人々が苦しんでいる。憎しみ、命を奪い合う事からは何も生まれません。二度と戦争を繰り返さない、核兵器は絶対に使ってはならない」という意志を持ち続けま

す」と述べました。全校生徒で折った千羽鶴を慰霊碑に捧げ、8時15分には参列者全員で黙とうし冥福を祈りました。

ちなみに私自身、1986年に現役附属生の学友会広報委員長として、高橋会長、杉原副会長とともに慰霊祭に出席した経験があります。備後では周囲に被爆体験者が少ないせい、知識はあっても他人事のような認識でした。しかし慰霊祭の参加をきっかけに身近な出来事へと変わり、広島に就職した後も毎年、慰霊祭に参加し続けています。改めて、貴重な体験をさせて下さった先輩方に感謝するとともに、平和の尊さを次世代へと継承していかなくては、と思っています。

今年も8月6日に、現地で慰霊祭を行います。私たち36回生が幹事を務めますので、お時間の許す限り、お越しいただけますと幸いです。この原稿を書いている時、5月27日に米オバマ大統領が広島訪問とのニュースが流れました。被爆地で「核兵器なき世



お時間の許す限り、お越しいただけますと幸いです。この原稿を書いている時、5月27日に米オバマ大統領が広島訪問とのニュースが流れました。被爆地で「核兵器なき世